

令和元年 第2回国際委員会 議事録

日時：令和元年6月29日（土）

場所：慶應義塾大学 信濃町キャンパス

出席：（担当理事）中村雅也

（委員長）松山幸弘

（委員）石井賢、伊東学、小澤浩司、川口善治、酒井大輔、高橋真治、波呂浩孝、八木満

欠席：千葉一裕、宮腰尚久

（敬称略）

1. 担当理事から委員会への報告事項、審議事項

1) 2019.第1回国際委員会議事録

・第1回議事録を確認した。

2) JSSR 2020 の English Presentation Award (EPA) について。

・JSSR 2019 の EPA session では 48 演題が採択された。EPA の 5 名をゴールド賞、5 名をシルバー賞として選出した。

JSSR2020 でも同様の賞を設ける予定である。審査員は過去 10 年の JSSR トラベリングフェローに依頼する。

・教育研修講演、シンポジウムはすべて英語発表とし、一般演題のスライドを英語に指定する予定である。

3) APSS life 会員への勧誘と現在の状況

・APSS APPOS 2021 を JSSR が主体となり開催する予定である。

APSS の Life 会員が増加するようにトラベリングフェローの先生方、各教室の主任教授に入会に関する勧誘のメールを送った。

APSS の日本人会員数が 71 名（4 月から 20 名増加）になった。

4) 2019 年 TWSS からのトラベリングフェロー受け入れ施設について。

東北医科薬科大学（小澤先生）、山梨大学（波呂先生）が受け入れることとなった。

2. JSSR2020 海外からの招聘 資料 2

JSSR 2020 の招待講師を確認した。

・JSSR と繋がりのあるアジア各国の脊椎外科医に参加を促す予定である。

・欧米からの海外招聘に関しても確認した。

3. Spine World Summit 2019 について
川口先生と小澤先生の演題が一方的にキャンセルあるいは変更されたため、本会への参加をキャンセルした。 今後 JSSR として Spine World Summit に参加しないこととする。
4. APSS に含まれるオーストラリアを JSSR アジアトラベリングフェローに含めてはどうか。
オーストラリアの施設を JSSR アジアトラベリングフェローに含める方向で酒井先生がオーストラリアの施設と連絡を取る事となった。
5. N20(G20 に合わせて開催)
 - ・6/27-6/28 に大阪で N20(Neuroscience)が開催され、NASS からの依頼で中村博亮教授が Local host を務めた。
6. 2020 年の予定について。
 - ・4/27-5/1:Spine week メルボルンで JSSR が 4/27 に 2 時間の Symposium を設けなければならない。また、5/1 の APSS の Session に JSSR から演題が登録できないか依頼があった。
 - ・6/5-7 : APSS 上海 国際委員は可能な限り参加する。
 - ・9/24-26 : APOA クアラルンプール Spine section があるため、松山先生、酒井先生は出席しなければならない。
7. 委員会から理事会への審議依頼事項
 - ・Spine Week について : 4/29 午後に JSSR が 2 時間の Symposium を開催せねばならない。Symposium の内容は Osteoporotic fracture, Adult spinal deformity になる見込みである。国際委員会が 5-6 人推薦する予定である。一般演題は受け付けない方針とする。
また spine week 2020 の演題受付情報を JSSR ホームページへ掲載いただくように広報委員会へ酒井先生から鈴木さんへお願いしていただく。
 - ・JSSR 2019 の EPA において、日本人上位 2 名(慶応義塾大学・大久保寿樹先生、大阪市立大学・玉井孝司先生)が次回 TWSS の Traveling fellow として選出された。TWSS の President である Prof. Chi-Chien Niu と連絡をとり、2020 年 TWSS への 2 名受け入れの了承を得た。JSSR より 10 万円まで旅費を支給する。Traveling fellow 選出を学会誌に掲載するとともに、報告書の提出も義務付ける。

8. 次回委員会日程：日本腰痛学会中 9/14、7 時～
場所は未定

以上